

◇調査・研究事業：コンサルティング・コーチング研究会 伴走支援の再定義—支援者のための新しいコンサルティングモデル— ～伴走支援と生成AI活用の実態調査と提言～

1. 調査・研究事業の背景・目的

中小企業庁が中心となり推進する経営力再構築伴走支援が、埼玉県内の支援機関でどのように進められたのかの実態と課題について調査研究します。また中小企業診断士にとっての伴走支援の定義や目的と実態についても調査研究します。

上記の調査研究と、当研究会が薦めている「パートナー型コンサルティング」について、比較検討し、中小企業診断士にとって真に役立ち成果の出る“新しい伴走支援のカタチ”として整理し取りまとめます。

そしてこれからの伴走支援コンサルティングに「生成AI」を具体的にどう活用していけば更なる進化発展につながるのかを提案します。

2. 実施内容

当研究会では、令和7年度調査・研究事業の実施について全研究会員で取り組みました。



メンバーによるミーティングの様子

(1) 支援機関へのアンケート調査

埼玉県内の支援機関である、商工会・商工会議所、金融機関、行政機関にアンケート調査を実施しました。内容は、伴走支援の実態と生成AIの活用状況についてです。伴走支援や生成AI活用については、ほとんどの支援機関で独自に取り組まれているものの、明確な成果や仕組みづくりまでは至っていないことがわかりました。

(2) 中小企業経営者へのインタビュー調査

埼玉県内の中小企業の経営者に直接インタビューを実施しました。内容は、昨今の経営状況や経営課題、支援機関からの支援などについてです。近年の経営環境の厳しさが浮き彫りになり、課題が多く挙げられました。

(3) 県協会診断士へのアンケート調査

県協会の中小企業診断士の皆さまにも会員メールを通じてアンケート調査を実施しました。伴走支援では経営者との信頼関係構築に取り組んでおり、生成AIも多くの人が活用していることがわかりました。そして今後は、人間力の向上と専門性を追求が、診断士としてより必要であることが示されました。

(4) 中小企業診断士経営者を取り巻く環境変化

中小企業診断士及び中小企業経営者の現状を、「我が国の経済・社会環境」「中小企業診断士・経営者の現状」「生成AI時代の到来と中小企業コンサルティングの変化」の3つのテーマでまとめました。

(5) コーチング

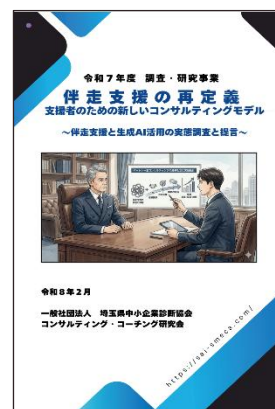
当研究会では、経営者への伴走支援において「コーチング思考」の重要性を示しています。支援者に求められるのは経営者自身の内省を支え、思考の質を高める対話だからです。



(6) これからの時代に求められるコンサルティングとは？

当研究会では、以前より『パートナー型コンサルティング』が中小企業診断士にとっての伴走支援として有効だと推奨しています。

今回は、具体的な手法として、A3シートを経営者との対話コミュニケーションを活かせるツールとして紹介しています。経営者を巻き込み、自ら前向きに取り組む、行動変容へ導くことが目的です。



報告書の表紙

3. 報告会としてのフォーラムの開催

報告書完成後、調査・研究結果の発表会をオンラインにて開催しました。

- 名 称：『伴走支援の再定義』
—支援者のための新しいコンサルティングモデル—
～伴走支援と生成AI活用の実態調査と提言～
- 日 時：2026年2月20日（金）14:00～16:00
- 会 場：オンライン発表会（Zoom）
- 内 容： 令和7年度調査研究事業報告書の発表

4. まとめ

当研究会では、中小企業経営者にとって役立つ伴走支援の在り方を研究しています。知識やノウハウを一方的に提供する「助言者」としての役割にとどまらず、経営者の思考に寄り添い、意思決定の質を高め、変革のプロセスを共に歩む「パートナー型コンサルティング」の重要性は高まっており、今後も普及に努めていきます。